

秋は運動会や学園祭など盛りだくさんの行事が控えています。
まずの登場はデジタルカメラ。撮影の後はパソコンですっきり管理しましょう。

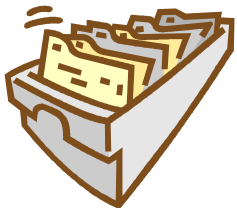
まず、必要な知識

パソコン内に、文書ドキュメント、写真やビデオ、様々なものを保存する際に必ず知っておきたい知識。

それはパソコンにデータを保存するということ。やみくもにデータをパソコンに保存すると、その後、「**何がどこに行ったか?**」確認する際も、その後の整理にもとても困ることになります。(整理されていない押し入れの中で一足の靴下を探すようなもの)

それらは1つ毎に**ファイル**という単位で保存されます。また、それをまとめておくものが**フォルダ**というフ

イルの入れ物です。このファイルとフォルダの関係をしっかりと頭に入れたうえで作業に取り掛かりましょう。(指定せずに写真を保存すると、ほとんどの場合は「ピクチャ(マイピクチャ)」フォルダに保存されます。)



必要なソフトは?

デジタルカメラからの取り込みは、使用するソフトによって異なります。

Windows パソコンでは単純な操作で取り込みが行える「**画像とビデオの取り込み**」ウィザードを使用すればよいでしょう。専用ソフトがなくとも標準のファイル管理機能で十分管理できます。

Macであれば付属の「**iphoto**」を利用するとよいでしょう。(「iphoto」では保存されたファイルの保存場所が一見ではわからな

いようになっています。)

Windows では通常のファイル管理で行えますし、**Mac** ではiphotoが付属していますので、特に専用の管理ソフトは不要ということになります。

Mac のiphotoはある程度の編集や管理機能が充実していますが、**Windows** のファイル管理ではそうではありません。カメラ付属の管理ソフトを使用するのもいいでしょう。

次月号はデジカメともう一つのメディア「ビデオカメラ」についてを予定しています。

その他の管理方法

■写真を共有する

パソコン内の写真を、家族や友人に見てもらいたい方法としてまず思い立つのは「**メールで送る**」という方法です。一昔前は主流でしたが、メールで送るには大きさや枚数など制約もあります。インターネット上に写真を保存しておく、それを見てもらう方法が一般的でしょう。インターネット上に保管場所を借り受け、そこにアップロードする、という方法になります。(見てほしい場合はそのアドレスを通知すればOK)

管理ソフトではGoogle提供の「**Picasa**」は、パソコン内の写真を自動選別したり、ある程度の編集機能や複数の写真をまとめて写真合成するなど、多彩な機能を備えています。また、Googleアカウントを持っていると、専用の写真スペースにアップロードする機能も備えます。

MSNのインターネットサービス「**SkyDrive**」は50GBまで容量を使えるので便利です。利用は各無料です。

■写真のバックアップ

パソコンに保存した写真は、必ずCDやDVDなどのディスクメディアにバックアップ保存しておきましょう。パソコンが起動しなくなってからでは遅いので、その場合もネット上に保存されていればとりあえずは安心です。

デジタルカメラでは、フィルムの写真と違い、枚数を気にすることなく撮ることが多くなり、枚数も「あっ!」という間に増えていきます。印刷したら終わりでなく、上手に管理し、うまく利用しましょう。写真を評価しあうサイトや、売買するサイトもありますので利用してみたいかがでしょうか。

